

2. 目黒区内中小企業の景況（令和 8 年 4～6 月期）

（1）今期の特徴点

スポット君景気予報						
						
好調	←		普通	→		
不調						

製造業

<<今期>>



業況は△9.5 で前期比 4.2 ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は△4.2 で 2.2 ポイント増とわずかに減少幅が縮小し、収益は△15.8 で 6.2 ポイント減と大きく減益幅が拡大し、資金繰りは△13.0 で 4.5 ポイント減と多少窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は 9.1 ポイント増の△0.4 と厳しさがかなり和らぐ見込み。

卸売業

<<今期>>



業況は△12.0 で前期比 5.2 ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は△8.8 で 15.6 ポイント減と増加から減少に転じ、収益は 0.3 で 11.3 ポイント増と好転し、資金繰りは△2.3 で 7.6 ポイント増と大きく窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は増減なく△12.0 と今期同様の厳しさが続く見込み。

小売業

<<今期>>



業況は△21.1 で前期比 9.3 ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△1.4 で 8.0 ポイント増と大幅に持ち直し、収益は△19.3 で 3.4 ポイント減とやや減益幅が拡大し、資金繰りは△11.5 で 5.6 ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は 1.1 ポイント増の△20.0 と今期同様の厳しさが続く見込み。

サービス業

<<今期>>



業況は△7.9 で前期比 7.2 ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は 6.4 で 1.0 ポイント減と前期同様の増加が続き、収益は 1.3 で 2.7 ポイント減とやや増加幅が縮小し、資金繰りは△4.5 で 1.0 ポイント減と前期並の苦しさとなった。来期の見通しについては、業況は 0.4 ポイント増の△7.5 と今期同様の厳しさとなる見込み。

建設業

<<今期>>



業況は 15.6 で前期比 10.4 ポイント増と大きく好調感が強まった。売上額は 14.1 で 1.8 ポイント増とやや増加幅が拡大し、収益は△3.9 で 5.1 ポイント減と増加から減益に転じ、資金繰りは 8.4 で 4.1 ポイント増と幾分容易さが増した。来期の見通しについては、業況は 1.2 ポイント減の 14.4 と今期並の良好感が続く見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

